

NBRP カイコニュースレター

# おかいこさま

No.59

National Bio-Resource Project “Silkworm”  
ナショナルバイオリソースプロジェクト「カイコ」情報誌  
令和7年12月1日発行  
<https://www.nbrp.jp/>

## かいこの飼育きろく 2025年夏

### 目的

私はシルクがすべすべしていやされるので大好きです。去年お母さんが育てた4匹のかいこは全部メスで増やすことができなかったので今年こそたくさん育ててまくらカバーを作りたいと思いました。



子ども自由研究企画「夏休みにカイコを育ててみよう」

「かいこの飼育きろく 2025年夏」Fさん（小学3年生・福岡県）  
研究レポート前半部分

## ■子ども自由研究企画「夏休みにカイコを育ててみよう」の実施

カイコやバイオリソース事業に対する興味関心・認知の向上や理解促進、更には将来的な生物分野研究の裾野を広げることを目的として、本年7月、小学生以下の子どもを対象に、カイコを自宅で飼育、観察してもらう企画を行い、希望者を募って全国の12名の子どもが参加しました。本企画への参加をきっかけに、カイコには多様な形質をもつ多くの系統があることを知り、NBRPデータベースで興味のある形質について調べたり、追加実験を行うために別の系統の分譲を申し込んで飼育を始めたりするなど、各々で研究を更に深める参加者も見られました。企画に参加した子どもたちの研究レポートの一部をご紹介します。

### (1)「かいこの飼育きろく 2025年夏」Fさん（小学3年生・福岡県）

シルクのまくらカバーを作るという目標のもと、繁殖と糸取りのために最適な数をChatGPTに相談し、できた繭を「はんしょく用」と「シルク用」に分けました。これからたくさん繁殖させて糸を取り、「糸をまく機械」を作って、そのために自宅の桑の木も増やす、という計画です。育てた成虫が産んだ卵の中に生種があり孵化したため、飼育を続けています。（以下、表紙の前半部分に続くレポートの後半部分）



80個のまゆになりました。できるだけ多くまゆを残したいけど確実にオスとメスを羽化させたいのでchatGTPに相談して20匹をはんしょく用、60匹をシルク用にしました。



20匹中12匹がメス、8匹がオスでした。産み付けられた12枚のうち、1枚だけ黒くならなくて心配しました。しばらくすると色が変わって、赤ちゃんがたくさん産まれました。今は2倍以上のかいこを育てています。



#### わかったこと

- ①かいこは足の力が弱いので手に乗せても痛くないようにうにうにしていた。
- ②大きくなると葉っぱをバリバリ食べる音がASMRみたいで触っても癒されるし、音でも癒された。
- ③たくさん育てたけど、まだまだ全然まくらカバーには足りない。2個だけ茹でて糸をとったけど、すごく大変だった。来年までに糸を巻く機械を作って、桑の木も増やさないといいない。

あと少しで次の蚕がまゆになるので忙しいけど楽しかったです。来年ちゃんと産まれてくるといいと思いました。

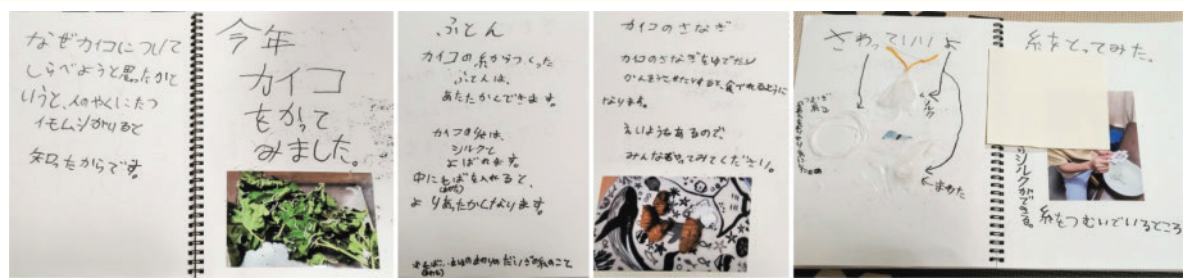
(2) 「はっばのちがいでどうなるか カイコのけんきゅう」Mさん (小学4年生・福井県)

自宅に生えている桑と本課題から入手した桑を使用して、違う桑を与えるとカイコの成育にどのような違いが生じるか、3つのグループに分けて観察したところ、「いちばん大きいのが大学クワ①」でした。「大学のクワはツヤツヤでぶあついすいぶんがありそう。だから大学のクワを食べた①と③は、大きくなった」。



(3) Nさん兄弟 (小学4年生・2年生・2年生の3人・愛知県) ※以下のレポートは2年生のもの

カイコが大好きな兄弟3人で飼育に取り組みました。カイコが「人のやくにたつイモムシ」であるということに注目し、蛹を茹でて食べてみたり、糸を取ったり、富岡製糸場に見学に行ったりするなどしました。



(4) Tさん (小学3年生・京都府) ※レポート内に文字を挿入

地域の蚕業の歴史等についても調べました。カイコがたくさん食べるので桑を集めるのが大変でした。



## 分譲可能なリソースの紹介

### ●九州大学（代表機関）

#### 2025年度の飼育スケジュール

表を目安に連絡を頂ければ分譲します。時期が合わない場合には代表機関九州大学までご連絡下さい。

時期	孵化日	幼虫時期	蛹時期
1期	5月9日	5月9日～31日	6月1日～9日
2期	6月27日	6月27日～7月19日	7月20日～28日
3期	8月15日	8月15日～9月6日	9月7日～15日
4期	10月3日	10月3日～25日	10月26日～11月3日
5期	11月21日	11月21日～12月13日	12月14日～22日
6期	1月13日	1月13日～2月4日	2月5日～13日

カイコ並びにクワコのDNAを分譲しています。

突然変異系統（約500系統）並びに、クワコ（北海道から鹿児島まで全国40数地点）のDNAレポジトリを整備しました。飼育が困難、変異体の情報が欲しいなどの場合に便利です。個別別に作成していますので遺伝多型を調べる実験にも利用できます。

### ●信州大学（分担機関）（野蚕関係）

日本のヤママユガ科ガ類を保存しています。ホームページをご覧ください。

<https://www.shigen.nig.ac.jp/wildmoth/index.jsp>  
管理、質の向上に一層の努力を重ねていきます。

種名	ステージ	時期	提供
ヤママユガ	卵（休眠）	9月～翌年6月	～100粒
	幼虫	6月～9月	～50頭
	蛹	7月～10月	～50頭
サクサン	成虫	8月～10月	～10頭
	卵（非休眠）	4月～8月	～100粒
	幼虫	6月～9月	～50頭
エリサン	蛹（休眠）	9月～翌年5月	～50頭
	成虫	5月～10月	～10頭
	卵（非休眠）	通年	～1000粒
	幼虫	通年	～100頭
	蛹（休眠）	通年	～100頭
	成虫	通年	～10頭

他にウスタビガ、オオミズアオ、オナガミズアオ、ヒメヤママユ、シンジュサン、エゾヨツメなどを扱っています。不明な点は下記にお問い合わせ下さい。

（問い合わせ先）

梶浦善太 zkajiur★shinshu-u.ac.jp

★を@に置きかえて送信ください。

## 編集後記

子ども自由研究企画は、初めての試みであった。カイコを卵から飼育するのは初めてという参加者がほとんどで、子どもたちは夏休みを利用して飼育と観察に取り組み、飼育と並行して自分の住む地域の養蚕業やカイコの歴史、甲骨文字等について調べたり、富岡製糸場やグンゼ博物館等に見学に行ったり、飼育したカイコがつくった繭から糸を取ったりするなど、飼育にとどまらず、関連する分野にも幅を広げて学習を深めた参加者も多く見られた。今後も機会があれば同様の企画を計画していきたい。（全ての参加者の研究レポートをホームページで公開予定）



## ニュースレター“おかいこさま”について

蚕は我が国の重要な農業生物でした。農家ではお座敷で飼われるほど大切にされ「おかいこさま」「お蚕（こ）様」と呼ばれてきました。蚕は日本人にとって特別な昆虫であり、皇居の紅葉山御養蚕所では皇后陛下が毎年、「おかいこさま」を育てておられます。

「おかいこさま」は世界の何処にもない日本独自のバイオリソースです。日本発のライフサイエンス素材からオリジナルな研究が展開されることを期待して、このニュースレターの名前として用いています。

### ニュースレター“おかいこさま”編集・発行

☎819-0395

福岡市西区元岡744 九州大学大学院農学研究院

遺伝子資源開発研究センター内

TEL 092-802-4821

ナショナルバイオリソースプロジェクト

「カイコ」課題

藤井 告（課題代表）

fujii.tsuguru.233★m.kyushu-u.ac.jp

松尾 香那

matsuo.kana.226★m.kyushu-u.ac.jp

★を@に置きかえて送信ください。

